

令和元年度「ホームカミングデー ～教員のための研修会～」開催報告

ホームカミングデー「教員のための研修会」は、教員として働いている卒業生に対して研修の機会を提供するとともに、本学を母校とする教員同士の絆を深める機会とすることを目的に年に1回開催している。また、近年は卒業生だけでなく、教職に就くことを希望する在學生にも参加を呼びかけ、先輩方とのつながりを持つきっかけを作ると共に、在学中から本学を母校とする教員としての自覚を促している。

2019年度は初の試みとして大学祭と同時開催し、大学祭を楽しんでもらう時間を設けると共に、大学院および教育・心理学科主催の公開講座にも参加できるよう企画した。

1. プログラム

日程：2019（令和元）年10月26日（土）10時～15時

会場：本学 サンタマリア館

- 開会式：学長挨拶、教員養成センター所長挨拶
- 分科会：校種別に分かれて卒業生と教員によるフリートーク
- 昼食会：食事をしながら卒業生同士や教員との交流を図る
- 公開講座：大学院、教育・心理学科主催 シンポジウム
「“備えあれば憂いなし”の創出 —あらかじめ準備しておくこと—」



2. 参加人数

37名（卒業生14名、本学教職員16名、在學生7名）

3. 分科会

分科会では、校種別（小学校、英語教諭、特別支援学校教諭、家庭科教諭、栄養教諭）に分かれ、卒業生と教員とがフリートークを行なった。各会場では、テーマは様々であるが、日頃の様子や現在の悩みなど、気兼ねせずに話げできた。特に、卒業生同士が日頃から抱えている思いを打ち明けられる雰囲気となったことが印象的であり、学生時代が重なっていない卒業生同士が連絡先を交換している様子もみられた。また、分科会に参加した在學生にとっては、教員として働いている先輩方の生の声を聞くことができ、貴重な場となったようである。



4. 昼食会

参加者に自己紹介と近況報告をしてもらったところ、それぞれが近況を熱く楽しく語ってくれ、その姿に成長や頼もしさを感じることができた。



5. 公開講座

大学院及び教育・心理学科主催の公開講座「“備えあれば憂いなし”の創出 ―あらかじめ準備しておくこと―」に参加できるよう計画した。



6. 今後の課題と展望

参加者からは、大変有意義だったという評価や、久しぶりに友人や後輩、先生方と会えてパワーをもらった、と感想があげられた。卒業生の参加については、日程の調整や時期の選択が難しいところだが、私達教員としては、このような場を継続して設けることに意義があると考えている。

来年度も、大学祭と同時開催を企画しており、研修としてキャリアアップの場にしてもらおうと同時に、卒業生にとって大学を懐かしむ機会となることを望んでいる。また、私達にとっても、卒業生教員が成長した姿を見せ、時に刺激を与えてくれるこの機会を、日々の教員養成に活かしていきたいと強く思う。